

## テーマ3:システム改善について

課題認識		
方向性	今後の対応	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>合同会議の議論を踏まえ情報システムのフレキシビリティを拡充する観点で、バンパー、ガラス、リチウム電池、水素ボンベなどといった品目追加等のシステムの対応に備える必要がある</li> <li>情報システムのユーザビリティを改善する観点で、自動車ユーザーを始め関連事業者、自治体などといった自動車リサイクルシステム利用者の課題・ニーズを把握する必要がある</li> </ul>		
<p>(1) フレキシビリティを拡充する観点からのシステム改善 ……【中長期的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在のシステムは3物品管理が主であるが、フレキシビリティを拡充する観点からシステム改善を検討する</li> </ul>	<p>(1) フレキシビリティを拡充する観点でのシステム改善検討開始 ⇒ 実際の改善については、2024年に予定されている情報システム大規模刷新と併せて行うことを想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現時点の検討項目例は以下3案(注1) <ul style="list-style-type: none"> <li>① 3物品以外の物品を管理する【品目追加】 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> プラスチック・ガラス等の処理の管理によるリサイクルの高度化</li> <li><input type="checkbox"/> CFRP等の次世代車材料に関する情報の管理によるリサイクルの促進</li> <li><input type="checkbox"/> リチウム電池等の処理に関する情報の管理による安全性の確保</li> </ul> </li> <li>② 再生資源が活用された車両等を対象にしたリサイクル料金割引制度の導入に対応するためのシステム対応【料金割引システム】</li> <li>③ より環境に配慮した再資源化を促すためインセンティブを付与する等の取組みを行うためのシステム対応【インセンティブ対応システム】</li> </ul> </li> </ul>	<p>(注1) 情報システム刷新についての財源等は資金管理業務諮問委員会において検討することになっている</p> <p>(注2) 第1回ヒアリング実施結果</p> <p>・ 実施期間 : 2015年12月～2016年1月 ・ ニーズ把握対象 : 本検討会の構成団体を中心とした関係主体</p> <p>(計14団体)NACS、JAF、自工会、輸入組合、自販連、全軽自協、中販連、日整連、ELV、愛知県、元気ネット、自再協、THチーム、ART</p> <p>〔主なシステム改善ニーズ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体より、事業者に指導する際に、事業者が使用している移動報告を行う画面と同じものを自治体でも見られるようにしてほしい</li> <li>解体業者より、移動報告対象を個々に選択するのが煩雑なので、一括選択できるようにしてほしい</li> </ul> <p>〔その他意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不便は感じておらず、現状のままで十分である</li> </ul>
<p>(2) ユーザビリティを改善する観点でのニーズの把握 ……【短期的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで行ってきた利用者ニーズの把握が限定的だったことに鑑み、今後は幅広い意見を集約する</li> </ul> <p>⇒ システム利用者に対しユーザビリティを改善する観点でのニーズを定期的に把握する</p> <p>(参考)</p> <p>&lt;これまでのニーズ把握&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者からコンタクトセンターに入電</li> <li>自治体から情報管理部に入電</li> </ul> <p>&lt;得られた改善ニーズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数工程に同時にログインできる機能</li> <li>リスト表示画面での「上に戻る」ボタン新設</li> <li>入力する項目を記憶する入力支援機能 等</li> </ul>	<p>(2) ユーザビリティを改善する観点での定期的なニーズ把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JARCが主体となって、毎年、関係主体にヒアリングを実施し、システム改善ニーズを把握する</li> <li>第1回ヒアリング(トライアル)を既に実施済。結果は備考参照(注2)</li> <li>トライアルの実施結果を受けて以下の点を改善していく <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ヒアリング対象をシステム利用者とする</li> <li><input type="checkbox"/> システム改善を絡めた業務改善を提案するなど聞き方を工夫する</li> </ul> </li> </ul>	